

平成30年度

事業報告書及びその附属明細書

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人たかしん地域振興協力基金

## 【事業報告書】

### 1. 会議の開催状況

#### (1) 理事会

日 時	平成30年 5月17日 (木) 午前10時00分～11時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 平成29年度事業報告並びに附属明細書の報告の件 2. 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 平成30年度助成案件承認の件 4. 平成30年度第1回定時評議員会開催の日時及び場所並びに目的である事項等について

日 時	平成31年 3月20日 (水) 午前11時00分～12時30分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 2019年度事業計画案及び収支予算案承認の件 2. 助成応募要領の変更について 3. 平成30年度第2回評議員会開催の日時及び場所並びに目的である事項等について
報告事項	1. 岐阜県公益認定等審議会の検査の報告について 2. 代表理事及び専務理事の職務執行報告について

#### (2) 評議員会

日 時	平成30年 6月7日 (木) 午前10時00分～11時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 平成29年度事業報告並びに附属明細書の報告の件 2. 平成29年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の件 3. 平成30年度助成案件承認の件
日 時	平成31年 3月20日 (月) 午前13時00分～14時00分
場 所	高山信用金庫 本店 2階役員会議室
議 案	1. 2019年度事業計画案及び収支予算案承認の件
報告事項	1. 岐阜県公益認定等審議会の検査の報告について 2. 代表理事及び専務理事の職務執行報告について 3. 助成応募要領の変更について

## 2. 事業の実施状況

平成30年度の事業は、定款第4条に定める事業を対象として助成希望者の募集を行い、当財団の理事会に助成先の選考ならびに助成金額を諮り、評議員会の決定を経て下記のとおり事業を実施しました。

助成受付期間	平成29年	4月	1日から平成30年	2月28日
助成実施期間	平成30年	4月	1日から平成31年	3月31日
助成決定金額	14団体	242万円		

飛騨地域の14団体から3,827千円の助成申請があり、平成30年5月開催の理事会および平成30年6月開催の評議員会の審議を経て242万円の助成額が決定されました。

助成実施額 14団体 242万円

すべての事業が実施され、14団体に対し242万円の助成を実施しました。

### (1) 産業振興助成事業（1件 30万円）

#### ① 高山商工会議所青年部会（30万円）

経済・社会環境が大きく変化する中で、企業と地域社会の次代を担う青年経済人が互いに交流と連携の輪を広げ、企業の発展と豊かな地域社会の形成に果たす商工会議所の役割を認識し、その実現のために青年経済人として何をすべきかを研究し研鑽することができた。

### (2) 地域の社会生活環境の整備に関する助成事業（4件 77万円）

#### ① ひだまりの会のちゆたかに飛騨（15万円）

少子化と高齢化が急速に進展する中、命の尊厳を改めて感じる事が大切となっており、誰がどのように看取るかの不安を軽減するとともに、今を大切に生きることをメッセージとして伝えることができた。

#### ② 瀬戸川を愛沿う会（22万円）

飛騨市古川町の真ん中を通っている瀬戸川は農業用水と生活用水として住民になくなくてはならないものであるが、現在では観光客にも人気の高い用水路として親しまれているため、ごみ収集用のごみ箱の設置が不可欠となっていたところ、本事業を活用して新たなごみ箱の設置ができた。

#### ③ 飛騨圏域の発達障害児の育児の支援を考える会（20万円）

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校における発達障害やそれに類する行動特性等のある児童生徒への教育的支援の在り方や関係機関との連携につ

いて学び、飛騨圏域における特別支援教育の充実を目指し、子供たちが安心して学習できる環境づくりへの活動につなげることができた。

④ 公益社団法人高山青年会議所（20万円）

女性が活躍できる社会に向けて徐々に国が変わろうとしてはいるものの、それはどこか他所ごとで男性中心社会を当然のこととしている我々の中の無意識化の感覚を刺激することはとても難しいことであるが、「輝く女性」をテーマにした「WOMEN'S EXPO」を開催できたこと自体に大きな意義があり、このことによって社会全体で取り組まねばならない課題であることをメッセージとして発信できた。

(3) 文化・スポーツ等にする助成事業（9件 135万円）

① 高山軟式野球連盟（30万円）

少子高齢化やスポーツの多様化が進展する中で創立100周年を迎えた式典を開催したことにより、当連盟が野球を守り、育て、発展させていくことで、今後も野球愛好者とともに歩み続け、野球少年の健全育成と地域の活性化につとめていくことを改めて確認することができた。

② 古川の祭り有志の会（15万円）

スイス・ベンツォーナで開催された Japan Matsuri2018 にて古川の祭りのスライドとパフォーマンスを披露したことで、現地の新聞等で大きく取り上げられ、来春の古川の祭りを見るために宿を予約したなど、観光客の誘客にもつなげることができた。

③ 高山市合唱団 飛響（10万円）

高山市民合唱団創立60周年を記念し、広く公募した一般市民を合唱団に加え、高山市内で活動するオーケストラ「高山室内合奏団」とともにクラシック音楽の楽しさを聴衆とともに味わい、質の高い演奏を提供することで、市民による合唱とオーケストラのレベルアップを目指すことにより、地域でのクラシック音楽の裾野を広める機会となった。

④ 飛騨歴史劇製作委員会（10万円）

観客数は両日とも満員となり、受付横に（一社）高山市文化協会の協力のもと、安永騒動に関する資料を展示したこともあり、多くの方に資料をご覧いただけたため、本公演を通じて飛騨の歴史に関心を持っていただけた。

⑤ 合同会社 JAM（15万円）

「飛騨の里」において国内で活躍するプロのミュージシャン17組による飛騨地域初となるジャズフェスティバルを開催したことで、飛騨地域外から313名、飛騨地域から875名の観客を誘致することができ、飛騨地域の消費額の拡大に貢献できたばかりではなく、飛騨の里の新たな活用方法を提案することができた。

⑥ 高山スイングエコー（15万円）

創立45周年という節目の年を迎えたことを機会に、今までの演奏活動の成果を発表し、市民の皆様楽しんでいただくことにより、地域の音楽文化振興に寄与することができた。

⑦ 高山市民吹奏楽団（15万円）

創立50周年を記念して委嘱作品の世界初演、日本舞踊・ミュージカルとの共演等、新しい試みを行い、お客様から絶賛をいただけたとともに、地域の文化芸術の発展に寄与することができた。

⑧ 高山民謡連合会（10万円）

「高山音頭」「飛騨やんさ」などの飛騨地域の代表的な民謡を小学生や中学生を含めた地元の方々へ発表したことにより、将来を担う子供たちへの伝承と普及に努めることができた。また、進学等によって子供たちが故郷を離れても飛騨地域の民謡を記憶にとどめてくれることが期待できる。

⑨ アンデス音楽の夕べ実行委員会（15万円）

神岡鉱業（三井金属）は、演奏者の出身国であるペルーで鉱山事業を開始して50年以上経過しており、この鉱山事業を支えるため、これまでに神岡鉱山から社員を派遣するなど、現地とのつながりが深い地域であり、スポーツや文化、音楽などの交流が盛んに行われているため、南米アンデスの方々との交流が今後の歴史認識においても重要な役割を果たすことができた。

**【事業報告の附属明細書】**

平成30年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、これを作成しない。